

京都市職員優秀提案発表会「トライ！京舞台」及び表彰式 プログラム

日時：平成30年4月17日（火）

9：10～12：00

会場：京都御池創生館地下1階研修室

1 職員グループの発表（9：10～9：35）




	件名
①	山科区役所「市民サービス向上検討プロジェクトチーム」
②	交通局「京都市若手職員地下鉄・市バス増客チーム」



2 優秀提案発表会（9：30～11：15）

	件名	発表者所属	表彰区分
①	“若手の底力プロジェクト” presents 「建築・設備技術伝承塾」	都市計画局 公共建築部 公共建築整備課	きょうかん賞
②	災害対応訓練 ～同時に様々な被害が発生！～	建設局 土木管理部 土木管理課	市長賞
③	みんなで学ぼう！ ～自分ごと，みんなごとで 一緒に守るまちの土木～	建設局 土木管理部 西部土木事務所	市長賞
④	若者たちの野望 ～「文化」と「働き方改革」～	北区役所 改革実践チーム	市長賞
⑤	消防訓練参加率をアップせよ！ ～飲食店への訓練参加証を発行～	消防局 中京消防署	市長賞
⑥	いつでも，どこでも，実践！ Power to listen（聴く力）向上プロジェクト	消防局 伏見消防署	きょうかん賞
⑦	基地っと止めよう！～業界初！？車庫内運転ゲームの開発～	交通局 高速鉄道部 車両工場醍醐検車区	市長賞
⑧	良く分かる！「水道管材料図鑑」の作成	上下水道局 給水勉強会	市長賞

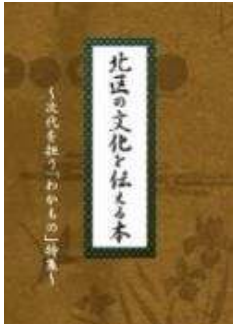

3 表彰式（11：15～11：45）

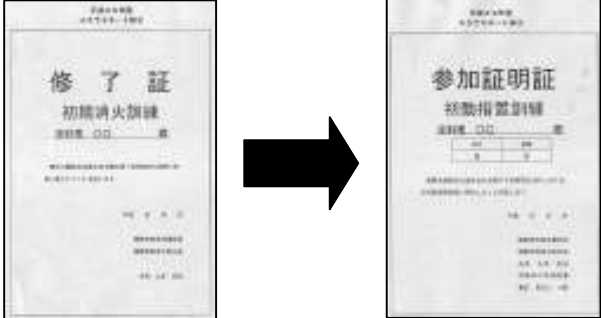
4 閉会（11：45）


件名	“若手の底力プロジェクト” presents 「建築・設備技術伝承塾」
発表者 所属	都市計画局 公共建築部 公共建築整備課
改善前 (課題等)	公共建築整備課の組織力は、向上しつつあるが、さらなる組織力の向上を目指したい！！
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 課内の若手職員で組織した「若手の底力プロジェクト」に組織力向上のためのアイデアの提案を依頼 ● “若手のアイデアいただき会議”を開催 「先輩職員から体験談を聞きたい」、「もっと知識を増やしたい」、「相談したい」という意見を基に 解決策を検討 ● 「建築・設備技術伝承塾」が誕生、平成29年9月から概ね毎月開催（全6回開催） ● “塾”では、当課の業務である市有建築物（学校や庁舎など）の改修工事について「分からないこと」や「知りたいこと」を出し合い、先輩職員が中心となり、その疑問に答えるグループワークを実施 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 10px;">    </div>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">★若手職員を課内の皆で育てる職場風土の醸成 <li style="width: 50%;">★若手職員の自信、積極性の向上 ★“自然発生的”に改修工事の設計ガイドラインを策定 ★アンケート結果：業務の役に立つ【88%】，組織力が向上したと感じる【94%】，技術力が向上したと感じる【88%】





件名	災害対応訓練 ～同時に様々な被害が発生！～
発表者 所属	建設局 土木管理部 土木管理課
改善前 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> • 近年多発する台風や局地的集中豪雨に伴い、災害が年々増加傾向にある。このような状況下において、形式的な訓練のみではなく、より実践的で高度な訓練が求められている。 • 複数の災害が同時に発生した場合には、限られた人員の中で、重要度の高いものから優先順位をつけ対応し、被害を最小限に抑える必要があり、普段からその判断力を養っておくことが重要である。
内容	<ul style="list-style-type: none"> • 例年実施している防災訓練（災害時の体制や災害発生時の流れの確認等）に加え、あらかじめ発生する可能性のある災害事象を想定し、対応の優先順位付けを行う「災害対応トリアージ訓練※」を実施した。 <p style="margin-left: 40px;">※ 患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定して選別を行う医療トリアージを応用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">(写真) 訓練実施状況</p>
効果	<p>訓練を通じ、人命が最優先という共通認識の下、様々な災害事象に対し活発に議論を深めることができ、災害対応への意識が高まった。</p>

件名	みんなで学ぼう！～自分ごと、みんなごとと一緒に守るまちの土木～
発表者 所属	建設局 土木管理部 西部土木事務所
改善前 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> • 安全・安心に過ごすことができるまちを実現するためには、行政と市民の皆様が協働し、まちを守る取組を実施していくことが重要。 • 公共土木施設の維持管理について、市民の皆様にご認知・理解いただくための取組が必要。 • 市民の皆様からも「土木事務所や維持管理のことがよく分からない」「話しやすい場をたくさん設けてほしい」などの御意見をいただいていた。
内容	<ul style="list-style-type: none"> • 市民の皆様とのコミュニケーションの場づくりとして、中京区役所協力のもと、自治連合会会長や、小学校校長会の場において、地元のイベントや学校の授業などで土木事務所の取組を知っていただく時間を取り入れていただくことを提案した結果、朱雀第三小学校3年生の「総合的な学習」授業に取り入れていただくこととなった。 • 実施に当たり、子どもたちに土木事務所の業務やまちを守ることをより身近に感じ、関心を持っていただけるよう、検討・協議を重ね、室内及び校外学習授業を実施した。 • 室内授業では、道路の損傷個所の写真を基に、土木事務所の業務内容を紹介したうえで、メンテナンスゲーム(限られた予算の中で、どの順番で補修の優先順位を設定するかを学ぶゲーム)を実施した。校外学習授業では、実際に損傷個所の補修工事を見学し、普段通っている道路の安全がどのように守られているかを子どもたちにも学べるように企画・実施した。
効果	土木事務所の仕事や市民協働の必要性を子どもたちに体感していただくことで、未来の京都市のまちづくりの担い手となることが期待できる。また、現場で働く職員にとっても、市民の皆様にご自身の仕事や事業について、伝える力の向上につながる。

件名	若者たちの野望～「文化」と「働き方改革」～	
発表者 所属	北区役所 改革実践チーム	
改善前 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ■各文化活動では、若手後継者の担い手不足が課題とされている。 ■区役所の庁舎が古く、雰囲気も暗い。職員同士のコミュニケーションを図る機会が少ない。 	
内容	<p>文化 1 京都五山送り火（左大文字）への参加</p> <p>「真のワーク・ライフ・バランス」に掲げる地域活動への貢献及び職員の文化力向上を目標に、五山送り火の前日の準備作業から点火を含む当日運営に参加した。作業の様子等は、北区魅力発見本で紹介している。</p> <p>文化 2 北区魅力発見本と魅力PR動画の制作</p> <p>「伝統文化」、「食文化」、「文化遺産」の3つのテーマのそれぞれ若手後継者にスポットをあて、立命館大学及び佛教大学の大学生と共同で魅力発見本と魅力PR動画を制作した。</p> <p>働き方改革 1 「Happy☆キタエちゃん体操」の普及活動</p> <p>北区オリジナル健康体操「Happy☆キタエちゃん体操」の職員への啓発のため、メンバーが体操の指導者として各所属に出向き体操をリードするとともに、「Happy☆キタエちゃん体操」の公式動画を制作した。</p> <p>働き方改革 2 BGMの導入</p> <p>庁内放送でクラシックミュージックを中心とした音楽の放送を開始した。</p> <p>働き方改革 3 職員名鑑の製作</p> <p>「職員同士を知ること円滑な業務遂行を図る」「北区や北区役所について知る」「他部署の業務を理解することで市民サービスの向上を図る」の3点を目的に、北区役所全職員に協力を呼びかけ、職員名鑑を製作した。</p>	 
効果	<ul style="list-style-type: none"> ■「文化」の取組は、メンバーの文化力向上はもとより、地域コミュニティの重要性を体感でき、地域側の視点に立ったまちづくり推進の認識を深めるとともに、北区の魅力を発信する取組となった。 ■「働き方改革」の取組は、メリハリのついた業務遂行と業務効率の向上に寄与し、さらに快適な区役所づくりにもつながり市民サービスの向上にも寄与する取組となった。 	

<p>件名</p>	<h1>消防訓練参加率をアップせよ！ ～飲食店への訓練参加証を発行～</h1>
<p>発表者 所属</p>	<p>消防局 中京消防署 警防課 第三部</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店が多く所在する中京区銅駝学区内では、例年、飲食店の消防訓練・防災訓練への参加率が低調であった。 ○ 平成28年7月に先斗町で飲食店が関係する火災が発生し、飲食店での「初期消火」の重要性が再認識された。また、隣接学区において、飲食店が関係する火災への不安が広がった。
<p>内容</p>	<p>【平成28年度】 銅駝学区の自主防災会長・自治連合会長名で、 訓練参加飲食店に対して「初期消火訓練修了証」を発行した。</p> <p>【平成29年度】 訓練内容を見直すとともに、証書の名称を 「参加証明証」に改め、中京消防署長も連名とした。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 訓練内容は、「消火訓練」・「防火講座」とし、初期消火の必要性を説明することで防火・防災力の向上を図った。 ○ 従来の消火器取扱訓練に加えて、消火器の構造・消火原理等の講義を実施することで、消火器を身近なものとした。
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店への証書発行を始めたことで、地域の不安解消や防災意識の向上につながった。 ○ 証書を消防署長も連名にし、記載内容を見直すことで、証書の公平性や信頼度を高め、飲食店の訓練参加意欲を向上させた。 ○ 飲食店が「参加証明証」を店内に掲示し、利用客に対して安心・安全を提供できるようになったため、訓練参加率が向上した。

件名	いつでも、どこでも、実践！ Power to listen (聴く力) 向上プロジェクト
発表者 所属	消防局 伏見消防署
改善前 (課題等)	各部署で「今、私たちに、何が求められているか。」を問い掛け、取り組むべき内容を検討した結果、「コミュニケーション力をアップさせること」を課題とした。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション力をアップさせるための手段として、聴く力を向上させるための取組を実施し、職員の「聴くこと」への意識の向上を図った。 ・ 聴いた内容をまとめ、短時間で発表することで、話の内容を職員全員で共有することができた。 <p>取組に当たっては、①煩わしさをなくしたシンプルなもの、②職員一人一人が緊張感を持って取り組めるもの、③短時間で効果が期待できるもの、④多数の職員が参加できるものとし、職員が、①傾聴、②要約、③発表という作業を署長訓示や各種教育の受講者のフィードバック研修、課内会議など様々な機会を捉えて実践した。</p> 
効果	<ul style="list-style-type: none"> ① 発表を前提にしたことにより、傾聴することについて意識が高まった。 ② 要約には必ずメモを取ること、発表は短時間で実施することで、要点を絞り込む力と伝える力の向上にも役立った。 ③ 傾聴した内容をその場で職員が発表することにより、内容について、職員の理解が更に深まった。 ④ 話し手にとっては、発表内容を聴くことで、自分の話がどう伝わったかが分かり、伝える力の向上につながった。

<p>件名</p>	<p>基地っと止めよう！～業界初！？車庫内運転ゲームの開発～</p>
<p>発表者 所属</p>	<p>交通局 高速鉄道部 車両工場 醜翻検車区</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 醜翻車庫見学会では人気の展示に 1 時間程度の行列が発生し、見学会を十分に楽しめない方がおられた ここ数年展示の更新が行われておらず、他事業者の見学会から見劣りするものになっていた
<p>内容</p>	<p>【展示の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「楽しめる見学会」という目的達成のために、検車職員から集めた意見を分析 →目的に必要な解決策として「<u>車庫内運転ゲーム</u>」の開発を決定 ゲームについては「より多くのお客様に楽しんで頂ける」という点を一番に考慮 →遊びやすい<u>コントローラー</u>、楽しめる<u>ゲーム性</u>、待ち時間を減少出来る運用の3つを決定 <p>【ゲームについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人当たりのプレイ時間は約3分 PCソフトとして開発したため持ち運びが可能 ゲーム、コントローラー等すべてを検車区で作成し<u>コスト削減</u> リアルな運転状態に近いゲーム画面を作成（右図参照） 
<p>効果</p>	 <p>当日は3台を同時併用！ →行列は最大20分に！</p>  <p>お子様も大人の方もゲームを楽しんで頂けた</p> 

<p>件名</p>	<p>マスコットキャラクター  良く分かる！「水道管材料図鑑」の作成</p>
<p>発表者 所属</p>	<p>澄都（すみと）くん 上下水道局 給水勉強会</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>水道管材料には多種多様な形態があり、組み合わせについても何通りも存在している。しかし、これらの水道管材料について、体系的にまとめられた資料が少ないことや、業務の中で直接材料に触れる機会が減少していることなどから、十分な技術継承ができていなかった。</p>
<p>内容</p>	<p>職員の知識向上及び技術継承を目的に、経験年数5年以下の職員を中心に構成されている「給水勉強会」において、300点近くの材料に関する法的な位置付け、材料の基本的な特徴や施工における取扱い、配管を行う際の例などを網羅した「水道管材料図鑑」を作成した。</p> <p>また、工場視察・技術講習会を開催し、実践的な技術を習得できる機会を設け、図鑑に反映させた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> 
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作成した図鑑を関連部署全体に配布しており、また、課内研修等で利用することで、給水勉強会に参加できなかった職員の知識向上にもつながり、様々な問い合わせにスムーズに対応できるようになった。 業務に従事する全ての職員が、水道管材料を体系的に理解できるようになることで、水道管の設計業務や工事の竣工検査等の業務の能率を向上することができた。